

当院のFFR測定 electrical drift の検証

¹名古屋徳洲会総合病院、²名古屋徳洲会総合病院

村上 堅太¹、渡辺 大基²

【目的】FFRの正確な測定には注意点があるが、一つであるelectrical driftについて我々が検索した限りでは文献報告もないため今回検証した。【方法】2012/01/05-2012/06/28までに施行したFFRを測定したのべ枝数200枝(このうち冠動脈ステント留置術施行した103枝では治療後も測定)において、最大充血時におけるFFRを測定した後にpressure wireを大動脈まで引いて大動脈内でのFFR値を確認した。【結果】FFR測定したFFRのAoでのFFR値は 1.00 ± 0.02 でPCI後にFFR測定した103枝では 1.00 ± 0.02 。pull back後にAoでのFFR値が1.0であったものは80例(40.0%)、PCI後のFFR測定では53例(51.5%)であった。また補正によりdeferした病変が3枝(1.5%)認めた。【結論】当院のAoで測定されるFFRは平均では誤差範囲内ではあるが、かなりの症例でelectrical driftが認められた。正しい測定の為に適切なequalizeの仕方や補正による正確なFFR値を算出への注意が必要である。